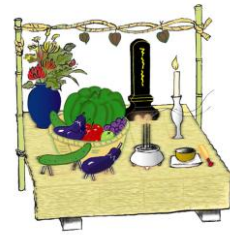




2006・夏  
発行：法問寺  
題字：鈴木裕子

### お盆がまいります・・・

お盆の準備としては、まず、家の仏壇・仏具をきよめ、お盆の迎え日には



仏壇の前に精霊棚を設けます。精霊棚は伝統的には、しの竹の柱を四方に立ててその中に棚を設けますが、最近ではあまり見かけなくなってきました。一般的には仏壇の前に小机か台を置き、真菰(まごも)のゴザを敷いて棚をしつらえることが多いです。花、季節の野菜や果物、菓子、故人の好物などを供え物とし、蓮の葉の上に少量の水をたらし「閻伽水(あかすい)や、刻んだナスと洗い米を清水に浸した「水の子」なども一緒に供えます。先祖の位牌や灯明、香炉などを仏壇から出して精霊棚に並べる場合もあります。また、祖先の霊が早く来られるようにとの思いからキウリで作った馬と終わりにはゆつくりお浄土にお帰りいただくように



との思いからナスで作った牛を供えるしきたりもあります。現代では部屋が狭いため、精霊棚を設けず、仏壇の中に供え物をする形式も多くなっています。とにかく仏壇周りをきれいにしますがすがいい中に心をこめてご先祖をお迎えしましょう。

### 法問寺花だより 初夏 鈴木裕子



今年、冬が寒かったせいか、お花の開花時期が、いつもの年とちょっと違ったようです。牡丹は、とても早まったようで、四月中旬から、色とりどりに五〇個近いお花が、見事に咲きました。

そして、いよいよ五月、薔薇の季節到来、牡丹の時にもそうでしたが、今年は雨風の強い日が多くて、花たちには、とても無残でした・・・それでも、今も二番花三番花が開いています。例年並みの入梅とともに、紫陽花も開き始めました。

「墨田の花火」は挿し木で育て、今年、裏庭でたくさん花をつけてくれました。他にも何株かが、色々なお花を咲かせています・・・本当に、雨にあう花ですね！



そして昨年冬、球根を買って植えた百合たち・・・お盆の頃、うまく、みなさんのお墓参りの折に、見て頂けたらいいなあ・・・と思っています。鉄砲百合から、カサブランカ類までありますが、写真のは、鉄砲百合の「みやび」、一番乗りで先日開花した百合です。どうか、お盆の頃にあわせて、うまく咲きますように・・・

最後に、かわいいお地蔵さんの傍に「蓮」をいれてみました。まだ、来たばかりです、ちゃんと育ってくれることを祈っています。

### ☆住職の奉仕活動報告その他

四月 日本赤十字社救急員養成並びに AED 講習指導

★十八年三月～六月までの計報★

四月二日 川本文一様 九十七歳 (信徒)

光寿院 泰譽丈岳 積善居士

四月八日 田嶋ハツ様 八十六歳

温譽初光 春慧信女

五月十日 大澤 勝様 九十九歳

晃譽 勝心 妙雲信女

六月三日 川口喜齋様 八十九歳

喜光良秀 信士

### ◇編集後記 住職

ご先祖さま・・・お盆にご先祖様が帰ってくるということを信じられない人でも、ご先祖様あったの私、ということとはわかるでしょう。『いのちのまつり』という絵本には、「いのちをくれた人をご先祖様と言うんだよ」とあります。ご先祖様は何人いるのでしょうか。「私にいのちをくれた人、父母の二人」「お父さんとお母さんにいのちをくれた人、四人」「おじいちゃんとおばあちゃんにいのちをくれた人、八人」とちょっと数えて五代前までも六十二人のご先祖様がいます。「数え切れないご先祖様が誰ひとり欠けても私は生まれてこなかった、と云うことです。だから私のいのちは、ご先祖様のいのちでもあるわけです。」ご先祖様を迎えたり送ったりというお盆の行事はご先祖様と向かい合い、自分の心と向かい合う、難しくも尊い作業であるといえます。お盆は、生きた者と死んだ者の共存の習俗です。仏教では人は生かされているという表現をします。今ある自分自身を考え、ご先祖様、並びに万物に感謝する生活を送ってみてください。

南無南無

